

工学部 建築デザイン学科

2022年度入学生カリキュラム

<カリキュラム情報>

- ◆ **カリキュラム・ポリシー** p.2
教育課程(カリキュラム)の編成方針。学科のカリキュラムは、学科の教育目標であるディプロマ・ポリシー(学位授与方針)に沿って編成されています。学科のカリキュラム・ポリシーを見ることで、卒業までの学びの展望を持つことができます。
- ◆ **カリキュラム・マップ [武蔵野 INITIAL・学科科目]** p.4
科目の分野やレベルに沿って、学科のカリキュラムの全体像を示した学びのマップ。
- ◆ **卒業所要単位数** p.6
必修科目や卒業に必要な科目区分ごとの単位数を一覧にした表。未修得の必修科目がある場合や、卒業に必要な単位数が不足する場合、卒業要件を満たすことができないため注意してください。進級基準科目(進級するために単位の修得が必要な科目)についてもあわせて確認してください。
※総合GPAなど、卒業要件の全体は「学修の手引き」を確認してください。
- ◆ **開講表 [武蔵野 INITIAL]** p.7
武蔵野INITIAL(全学共通基礎課程)科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **開講表 [学科科目]** p.9
学科科目の一覧。開講表では単位数、開講年次、履修条件、選択必修の要件、休講科目など、科目の基本情報を確認することができます。各科目の授業内容はシラバスを確認してください。
- ◆ **履修モデル** p.11
学びの関心や将来の進路目標に沿った科目の履修例。履修計画を立てる際に、科目選択の参考としてください。
※履修モデル自体は卒業所要単位数を満たすことを保証するものではないため、卒業所要単位数と開講表を必ず確認したうえで履修計画を立ててください。
- ◆ **成果に基づき単位認定される科目** p.12
「留学の認定科目」「資格試験の合格による認定科目」「ボランティア活動による認定科目」「本学が認めたキャリアデザインに関する認定科目」の一覧。

付録：卒業所要単位表・開講表の見方

開講表の科目情報(科目名、履修条件、休講科目等)など、カリキュラム情報は科目が開講される年度により変更となる場合があります。毎年度、履修要覧に掲載される最新の情報を確認してください。

建築デザイン学科 カリキュラム・ポリシー

建築設計はもとより、家具やインテリア空間からランドスケープや都市空間に至るまで、学ぶ領域の幅広さが建築デザイン学科の特徴です。軸足となる建築という専門性をしっかりと身につけ、設計製図を中心とした多くの課題に取り組むことにより、アイデアを形にし、それをプレゼンテーションする訓練を積み重ねていきます。全員が一級建築士を目指す学科独自のカリキュラムで専門性を高め、社会とつながる多彩なプロジェクトへの参加を通じて、学士力を磨きます。そのため、以下のカリキュラム群を用意しています。

＜分野別科目＞

計画系・構造系・環境系など、幅広い専門分野の科目群で構成されています。分野毎の知識・技術を段階的に修得し、カリキュラムが進行する中で課題発見や課題解決、論理性と創造性、表現とコミュニケーションの力を培い、他分野との関連を学ぶ構成となっています。

＜統合科目＞

「設計演習」「プロジェクト」「ゼミナール」と位置づける3つの軸で構成し、分野別科目で得た専門の知識や技術を用い、それらを統合してデザインや研究に取り組む力を身につけます。「設計演習」は、個人で課題に取り組むデザイン演習です。デザインの基礎から、建築の設計課題、そして2D・3DのCADを用いたデザイン演習で構成されます。「プロジェクト」は、多学年の学生が協働して活動する演習授業で、本学科の大きな特色の1つとなっています。作品づくりやフィールドワークなどに取り組みます。「ゼミナール」は、教員の指導のもと実践的・主体的に研究・制作に取り組む科目です。その集大成が「卒業研究（論文・制作）」となっています。

知識・専門性：学びの基礎力を基盤とした専門能力

自ら教養・基礎学力を修得し、自立的・主体的に学ぶことができる【教養・基礎学力】

建築に関する豊かな教養を修得し、多様化する現代社会の課題を主体的に発見・解決するための基礎的学力を身につけている【教養・基礎学力】

建築学における計画系・構造系・環境系の知識・技能を体系的に身につけている【専門能力】

本格的な専門教育を受ける前に、全学共通の教養教育プログラムである「武蔵野 INITIAL」の諸科目を履修し、学修の基礎力を養います。「武蔵野 INITIAL」では、大学での学修に必要な基盤的な技法と知識の修得をし、広い視野を備えたくれた人格の形成を目指します。

建築学は計画系・構造系・環境系など専門領域の裾野が広く、その建築の教養を通して、現代社会が抱える課題と多方面で直結します。また、建築における表現技術は、主体的な課題発見や解決の礎を築きます。そのため、「デザインテクノロジー 1,2」などを通じて表現技術の基礎を修得し、「建築計画」「日本の建築」「建築構造」など各専門領域の講義系科目を通じて基礎的学力を身につけます。

計画系・構造系・環境系など、建築学の知識・技能を体系的に身につけるために、科目構成が鍵となります。「建築材料」「建築施工法」「建築法規」は前述の3つの系以外の分野に属し、建築のデザインを実践する上で必要な知識・技能を修得する科目の例です。計画系・構造系・環境系の科目群、そして事例を直接目にする体験とともに、専門的見地から建築のデザインを構想し他者に説明できる力を養います。

関心・態度・人格：他者と自己を理解し、自発的に踏み出す力

建築分野における持続可能な社会の構築に必要な課題を発見することができる【課題発見力】

学生が主体的にテーマを設定し、企画立案・運営・検証までを行うことができ、計画を最後まで粘り強く実行する能力を修得している【主体性・実行力・ストレスコントロール力】

課題発見力を段階的に養うために、1年次「基礎ゼミ」「空間表現論」では、建築への関心を高め建築的思考の基盤を築きます。3年次「建築学演習」では、現代的な建築の課題にグループワークで取り組み、専門性を高めます。4年次「卒業研究」では、指導教員のもと一人ひとりがテーマを掲げて研究・制作に取り組む中で、建築的な課題発見力を身につけます。

テーマ設定から成果発表までの主体的活動を通して実行力とストレスコントロール力を養うために、設計演習・プロジェクト・ゼミナールの統合科目群があります。1年次「基礎デザイン1,2」では建築の図面・模型等の作品制作を通して、2,3年次「設計製図1,2,3,4」では具体的な建築設計課題を通して、個人で求められた成果物を期日内にまとめる力を身につけます。「プロジェクト1,2,3,4」では、学外での成果発表も視野に多学年が協働して作品づくりやフィールドワークに取り組む中で、主体性・実行力・ストレスコントロール力を身につけます。

思考・判断：課題を多角的に捉え、創造的に考える力

建築の専門知識を用いて、論理的な思考と創造的な発想力を使って、多面的に判断をすることができる【情報分析・論理的思考・判断力】

課題の本質を捉えて、論理的な思考と創造的な発想力から分析を進め、課題解決策を導くことができる【課題解決力】

課題解決のために、デザインアイデアを出し解決策を提示することができる【創造的思考力】

論理的思考と創造的な発想力を養うために、2年次「設計方法論」ではその基礎を修得します。3年次「建築学演習」では、専門性の高い課題に対する多面的な情報分析力・論理的思考力・判断力を養います。

仮説・調査・分析のもと課題解決の力を養うために、3年次「建築学演習」では同じテーマを掲げたゼミ形式のグループワークに取り組めます。4年次「卒業研究」では、指導教員のもと一人ひとりが個別のテーマを設定して研究・制作に取り組む、論理的思考や創造的な発想力を用いた課題解決策を導く力を養います。

分野別科目で得た知識や技術を統合してデザインなどの提案する力を養うために、2,3年次「設計製図1,2,3,4」では、小規模から大規模、単一用途から複合的用途、私的利用から公共利用、敷地・構造のヴァリエーションなど、設定条件の異なる設計課題を通して創造的思考力を身につけます。4年次「卒業研究」では、後期に作品制作の機会があり、その集大成と位置づけています。「プロジェクト1,2,3,4」では、協働で取り組む中で創造的思考力を身につけます。年度毎のカリキュラムの優秀作品を記録・保存・公開することで、より発展的な創造的思考力を培います。

実践的スキル・表現:多様な人々のなかで、自らの考えを表現・発信する力

自らの考えを明確かつ論理的に組み立て、意見交換できる【コミュニケーション力】

課題の解決策において、文章・図面・模型など多様な方法を用いて、自らの考えを的確に表現することができる【表現力】

他者の立場に立った視点からプレゼンテーションを行うことができる【表現力】

集団の中での役割を理解し、他者と協調しながら協働作業を行うことができる【チームワーク力】

目標実現のために必要な方向性を示し、工程を組むことができ、実行することができる【リーダーシップ】

制作・研究成果を用いてコミュニケーション力を養うために、2,3年次「設計製図1,2,3,4」などでは、きめ細やかな指導を行うスタジオ制とTA・SAによるサポートのもと、講評会・発表会でプレゼンテーションに取り組みます。質疑応答を通して、論理的に意見交換できる力を身につけます。「プロジェクト1,2,3,4」・4年次「卒業研究」では、学外での活動や発表を視野に据え、より高度なコミュニケーション力を培います。

多様な表現力を身につけるために、1年次「基礎デザイン1,2」では図面・模型など表現の基礎を、「デザインテクノロジー3,4」「デザインテクノロジー発展1,2,3,4」では最先端の2Dから3DのCAD技術を修得します。「設計製図1,2,3,4」では手描き・CADを含めた図面・模型・パネルとスライドを用いて、教員と学生が一同に介するプレゼンテーションに取り組みます。4年次「卒業研究」では、培った表現力を発揮して、作品づくりに取り組みます。「プロジェクト1,2,3,4」を含めた数多い作品の蓄積の中から、優秀作品展の開催、優秀作品集の刊行などを通して多様で高度な表現力を養います。

自律的に協働作業を行う力を養うために、「プロジェクト1,2,3,4」では、木工・コンピュータ・製本・フィールドワークなどの場を多学年の学生で協働した活動をする中で、参加学生はチームワーク力を、上級生はリーダーシップを身につけます。4年次「卒業研究」などのゼミナールでは、教員からの指導だけではなく、ゼミナールの所属学生が協働して学内外で活動する場を通じて、チームワーク力を培います。

1年				2年				3・4年	
★ BDS 101 仏教（生き方を考える）基礎				建学				★ BDS 301 仏教（生き方を考える）発展	
スポーツ・身体 HPE 101 スポーツと身体科学				HPE 201 フィールド・スポーツ					
★ SDG 101 SDG s 基礎				CHP				CHP 301 SDG s 特講	
★ SDG 201 SDG s 発展 1				★ SDG 202 SDG s 発展 2				★ SDG 203 SDG s 発展 3	
★ ENG 101 英語基礎 A				★ ENG 103 英語基礎 C				★ ENG 104 英語基礎 D	
CHN 101 中国語基礎 1				CHN 102 中国語基礎 2				CHN 103 中国語基礎 3	
GER 101 ドイツ語基礎 1				GER 102 ドイツ語基礎 2				GER 103 ドイツ語基礎 3	
KOR 101 韓国語基礎 1				KOR 102 韓国語基礎 2				KOR 103 韓国語基礎 3	
AL 101 英語資格・検定試験対策1				AL 102 英語資格・検定試験対策2				AL 103 英語資格・検定試験対策3	
AL 201 留学準備 1				AL 202 留学準備 2				AL 203 留学準備 3	
★ JL 101 日本語リテラシー				JPA 101 日本事情				JPA 201 日本語基礎 A	
JPA 202 日本語基礎 B				JPA 203 日本語基礎 C				JPA 204 日本語基礎 D	
JPA 301 日本語発展 A				JPA 302 日本語発展 B				JPA 303 日本語発展 C	
JPA 304 日本語発展 D				JPA 305 日本語発展 E				JPA 306 日本語発展 F	
★ SIC 101 データサイエンス基礎				★ SIC 102 人工知能基礎				SIC 103 情報技法基礎	
SIC 104 プログラミング基礎				SIC 105 メディアリテラシー				SIC 201 情報技法発展 A	
SIC 202 情報技法発展 B				SIC 203 情報技法発展 C				SIC 204 プログラミング発展 A	
SIC 205 プログラミング発展 B				SIC 206 人工知能技術と社会				SIC 207 機械学習活用 1	
SIC 208 機械学習活用 2				SIC 209 データサイエンス活用 1				SIC 210 データサイエンス活用 2	
SIC 211 メディアデザイン				SIC 212 サービスデザイン				SIC 301 人工知能実践プロジェクト	
★ FW101 フィールド・スタディーズ				FW 111/112/113/114 フィールド・スタディーズ 1/2/3/4				AFS 101/102/103/104 フィールド・スタディーズ発展 1A/1B/1C/1D	
AFS 201/202/203/204/205 フィールド・スタディーズ発展 2A/2B/2C/2D/2E				AFS 301/302/303/304/305 フィールド・スタディーズ発展 3A/3B/3C/3D/3E				AFS 401/402/403/404 フィールド・スタディーズ発展 4A/4B/4C/4D	
全学教養ゼミナール LAS 101 全学教養ゼミナール 1				LAS 102 全学教養ゼミナール 2				インターンシップ CD 211 インターンシップ	
CD 212 企業協働プロジェクト				★ 必修科目				選択科目	
EC 101 武蔵野市自由講座				EC 202 証券ビジネス論				*各科目の履修条件は開講表を参照	

1年	2年	3年	4年
★ 必修科目			
 学科基礎科目 学科基幹科目 学科展開科目			
建築計画			
★ ARCH 101 空間表現論 ARCH 201 住居論	★ ARCH 102 設計方法論 ★ ARCH 202 建築計画 ARCH 301 インテリアデザイン1	ARCH 103 空間とデザイン ARCH 302 インテリアデザイン2	
建築歴史・意匠			
ARCH 111 住居史	★ ARCH 211 日本の建築 ARCH 212 西洋の建築	ARCH 213 アジアの建築	ARCH 311 建築文化論
都市			
	ARCH 325 都市防災	ARCH 321 建築景観論 ARCH 324 ランドスケープデザイン	ARCH 322 都市環境 ARCH 326 防災まちづくり論 ARCH 323 環境デザイン
構造			
	ARCH 131 構造力学1 ARCH 231 構造力学演習1 ★ ARCH 331 建築構造	ARCH 132 構造力学2 ARCH 232 構造力学演習2 ★ ARCH 332 建築構造デザイン	ARCH 133 構造力学3
生産・材料			
		★ ARCH 341 建築材料	★ ARCH 342 建築施工法
環境・設備			
ARCH 151 住宅衛生	ARCH 251 建築と環境 ARCH 252 環境工学	ARCH 351 建築設備1 ARCH 353 光環境	ARCH 352 建築設備2 ARCH 354 音環境 ARCH 451 建築環境論
法規			
		★ ARCH 361 建築法規	
スタジオ（設計演習）			
★ ARCH 171 基礎デザイン1 ★ ARCH 271 デザインテクノロジー1	★ ARCH 172 基礎デザイン2 ★ ARCH 272 デザインテクノロジー2	★ ARCH 371 設計製図1 ★ ARCH 273 デザインテクノロジー3 ARCH 275 デザインテクノロジー発展1	★ ARCH 372 設計製図2 ★ ARCH 274 デザインテクノロジー4 ARCH 276 デザインテクノロジー発展2
		ARCH 373 設計製図3 ARCH 277 デザインテクノロジー発展3	ARCH 374 設計製図4 ARCH 278 デザインテクノロジー発展4
プロジェクト			
	ARCH 181 プロジェクト1	ARCH 182 プロジェクト2	ARCH 183 プロジェクト3
			ARCH 184 プロジェクト4
ゼミ			
★ ARCH 191 基礎ゼミ		★ ARCH 391 建築学演習	★ ARCH 491 卒業研究
フィールド・スタディーズ			
AFS 101 フィールド・スタディーズ 発展1（建築）	AFS 102 フィールド・スタディーズ 発展2（建築）		

工学部 建築デザイン学科 -2022年度入学生-

卒業所要単位数

2022年度版

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL (16)	必修 (16)	【建学】 <1年次> 仏教（生き方を考える）基礎 [2単位] <3年次> 仏教（生き方を考える）発展 [2単位]	4
		【情報】 データサイエンス基礎 [1単位] 人工知能基礎 [1単位]	2
		【外国語】 英語基礎A [2単位] 英語基礎C [2単位]	4
		【教養日本語】 日本語リテラシー [1単位]	1
		【CHP】 SDGs 基礎 [1単位] SDGs 発展1 [1単位] SDGs 発展2 [1単位] SDGs 発展3 [1単位]	4
		【フィールド・スタディーズ】 フィールド・スタディーズ [1単位]	1
学科科目 (78)	必修 (48)	【学科基礎科目】 [計12単位] 【学科基幹科目】 [計30単位] 【卒業研究】 [計6単位]	48
	選択必修 (30)	【学科展開科目】 [計30単位] 以下①②の条件の全てを満たすこと ① I 群～V 群の科目から計30単位を修得する。 ② 当該30単位に、 I 群[2単位]、II 群[2単位]、III 群[2単位]、IV 群[4単位]の計10単位を含む。	30
自由選択科目 (30)		以下の科目から30単位以上を修得すること ① 武蔵野INITIAL（所要16単位を超えて修得した単位） ② 学科科目（所要78単位を超えて修得した単位） ③ 武蔵野地域5大学単位互換制度による認定科目 ④ 他学部・他学科履修許可科目 （ただし、履修登録するにはアドバイザーの許可が必要です。登録について、事前にアドバイザーへ相談すること。） ⑤ 成果に基づき単位認定される科目	30
合計			124

※ 開講科目の名称は課程年度により変更となる場合があります。科目の名称変更と対応関係については開講表を確認してください。

※ 履修計画を立てる際には、必ず「学修の手引き」の「履修計画」や「履修登録」を確認してください。

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考	
			必修	選択			
【建学】							
BDS 101	仏教（生き方を考える）基礎	1年	2				
BDS 301	仏教（生き方を考える）発展	3年	2				
【スポーツ・身体】							
HPE 101	スポーツと身体科学	1年		1			
HPE 201	フィールド・スポーツ	2年		1			
【情報】							
SIC 101	データサイエンス基礎	1年	1				
SIC 102	人工知能基礎	1年	1				
SIC 105	メディアリテラシー	1年		1			
SIC 103	情報技法基礎	1年		1			
SIC 201	情報技法発展 A	2年		1	◆「情報技法基礎」を修得していること		
SIC 202	情報技法発展 B	2年		1			
SIC 203	情報技法発展 C	2年		1			
SIC 104	プログラミング基礎	1年		1			
SIC 204	プログラミング発展 A	2年		1	◆「プログラミング基礎」を修得していること		
SIC 205	プログラミング発展 B	2年		1			
SIC 206	人工知能技術と社会	2年		1			
SIC 207	機械学習活用 1	2年		1	◆「機械学習活用 1」「機械学習活用 2」をセットで履修すること	副専攻(AI活用エキスパートコース)の学生のみ履修可能	
SIC 208	機械学習活用 2	2年		1			
SIC 209	データサイエンス活用 1	2年		1	◆「データサイエンス活用 1」「データサイエンス活用 2」をセットで履修すること		
SIC 210	データサイエンス活用 2	2年		1			
SIC 211	メディアデザイン	2年		1			
SIC 213	サービスデザイン	2年		1			
SIC 301	人工知能実践プロジェクト	3年		2			
【外国語】							
ENG 101	英語基礎 A	1年	2				
ENG 102	英語基礎 B	1年		1			
ENG 103	英語基礎 C	1年	2				
ENG 104	英語基礎 D	1年		1			
ENG 201	英語発展 A	2年		1			
ENG 202	英語発展 B	2年		1			
ENG 203	英語発展 C	2年		1			
ENG 204	英語発展 D	2年		1			
ENG 301	英語総合 A	3年		1			
ENG 302	英語総合 B	3年		1			
CHN 101	中国語基礎 1	1年		1	◆「中国語基礎 1」「中国語基礎 2」をセットで履修すること		
CHN 102	中国語基礎 2	1年		1			
CHN 201	中国語発展 1	2年		1			
CHN 202	中国語発展 2	2年		1	◆「中国語発展 1」を履修していること		
FRA 101	フランス語基礎 1	1年		1	◆「フランス語基礎 1」「フランス語基礎 2」をセットで履修すること		
FRA 102	フランス語基礎 2	1年		1			
FRA 201	フランス語発展 1	2年		1			
FRA 202	フランス語発展 2	2年		1	◆「フランス語発展 1」を履修していること		
GER 101	ドイツ語基礎 1	1年		1	◆「ドイツ語基礎 1」「ドイツ語基礎 2」をセットで履修すること		
GER 102	ドイツ語基礎 2	1年		1			
GER 201	ドイツ語発展 1	2年		1			
GER 202	ドイツ語発展 2	2年		1	◆「ドイツ語発展 1」を履修していること		
SPA 101	スペイン語基礎 1	1年		1	◆「スペイン語基礎 1」「スペイン語基礎 2」をセットで履修すること		
SPA 102	スペイン語基礎 2	1年		1			
SPA 201	スペイン語発展 1	2年		1			
SPA 202	スペイン語発展 2	2年		1	◆「スペイン語発展 1」を履修していること		
KOR 101	韓国語基礎 1	1年		1	◆「韓国語基礎 1」「韓国語基礎 2」をセットで履修すること		
KOR 102	韓国語基礎 2	1年		1			
KOR 201	韓国語発展 1	2年		1			
KOR 202	韓国語発展 2	2年		1	◆「韓国語発展 1」を履修していること		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考	
			必修	選択			
AL 301	留学準備 1	1年		1	◆「留学準備 1」「留学準備 2」をセットで履修すること ◆履修条件をシラバスで確認すること		
AL 302	留学準備 2	1年		1			
AL 101	英語資格・検定試験対策 1	1年		1		◇TOEIC550点程度の英語力があること	
AL 102	英語資格・検定試験対策 2	1年		1		◇TOEIC400点程度の英語力があること	
【教養日本語】							
JL 101	日本語リテラシー	1年	1				
JPA 201	日本語基礎 A	1年		1	◆留学生または日本語を母語としない学生	*1*2 外国語科目群の必修科目に代えることができる	
JPA 202	日本語基礎 B	1年		1			
JPA 203	日本語基礎 C	1年		1			
JPA 204	日本語基礎 D	1年		1			
JPA 301	日本語発展 A	2年		1	◆留学生または日本語を母語としない学生 ◆次のいずれかのセットで履修すること ①「日本語発展A」「日本語発展B」 ②「日本語発展C」「日本語発展D」 ③「日本語発展A-D」	*2	
JPA 302	日本語発展 B	2年		1			
JPA 303	日本語発展 C	2年		1			
JPA 304	日本語発展 D	2年		1			
JPA 101	日本事情	1年		2			
【CHP】							
SDG 101	SDGs 基礎	1年	1				
SDG 201	SDGs 発展 1	1年	1				
SDG 202	SDGs 発展 2	1年	1				
SDG 203	SDGs 発展 3	1年	1				
CHP 301	SDGs 特講	3年		2			
【フィールド・スタディーズ】							
FW 101	フィールド・スタディーズ	1年	1				
FW 111	フィールド・スタディーズ 1	1年		1		学外学修の活動日数に応じて、単位修得できる科目が決定します 履修登録は不要です	
FW 112	フィールド・スタディーズ 2	1年		2			
FW 113	フィールド・スタディーズ 3	1年		3			
FW 114	フィールド・スタディーズ 4	1年		4			
AFS 101	フィールド・スタディーズ発展 1 A	1年		1		詳細はガイドスで確認すること 履修登録は不要です	
AFS 102	フィールド・スタディーズ発展 1 B	1年		2			
AFS 103	フィールド・スタディーズ発展 1 C	1年		3			
AFS 104	フィールド・スタディーズ発展 1 D	1年		4			
AFS 201	フィールド・スタディーズ発展 2 A	2年		1			
AFS 202	フィールド・スタディーズ発展 2 B	2年		2			
AFS 203	フィールド・スタディーズ発展 2 C	2年		3			
AFS 204	フィールド・スタディーズ発展 2 D	2年		4			
AFS 205	フィールド・スタディーズ発展 2 E	2年		5			
AFS 301	フィールド・スタディーズ発展 3 A	3年		1			
AFS 302	フィールド・スタディーズ発展 3 B	3年		2			
AFS 303	フィールド・スタディーズ発展 3 C	3年		3			
AFS 304	フィールド・スタディーズ発展 3 D	3年		4			
AFS 305	フィールド・スタディーズ発展 3 E	3年		5			
AFS 401	フィールド・スタディーズ発展 4 A	4年		1			
AFS 402	フィールド・スタディーズ発展 4 B	4年		2			
AFS 403	フィールド・スタディーズ発展 4 C	4年		3			
AFS 404	フィールド・スタディーズ発展 4 D	4年		4			
【インターンシップ】							
CD 211	インターンシップ	2年		1			
CD 212	企業協働プロジェクト	2年		2			
【全学教養ゼミナール】							
LAS 101	全学教養ゼミナール 1	1年		2			
LAS 102	全学教養ゼミナール 2	1年		2			
【寄付講座】							
EC 101	武蔵野市自由講座	1年		2		寄付講座：武蔵野市	
EC 202	証券ビジネス論	2年		2		寄付講座：野村證券	

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

*1 留学生は「英語基礎A,C(2科目4単位)」の代わりに、「日本語基礎A-D(4科目4単位)」が履修登録されています。

「日本語基礎A-D」は、外国語必修科目に対応するものとして、進級基準における「必修未修得2科目以内」の条件の対象となり、原級留年時の成績リセットの対象となります。

*2 日本語を母語としない学生が履修を希望する場合は、2022年度の前期履修登録期間までに武蔵野教務課にお問合せください。

工学部 建築デザイン学科 -2022年度入学生-

開講表 [学科科目]

2022年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【学科基礎科目】						
ARCH 171	基礎デザイン 1	1年	2			
ARCH 172	基礎デザイン 2	1年	2			
ARCH 101	空間表現論	1年	2			
ARCH 191	基礎ゼミ	1年	2			
ARCH 271	デザインテクノロジー 1	1年	2			
ARCH 272	デザインテクノロジー 2	1年	2			
【学科基幹科目】						
ARCH 371	設計製図 1	2年	4			
ARCH 372	設計製図 2	2年	4			
ARCH 273	デザインテクノロジー 3	2年	2			
ARCH 274	デザインテクノロジー 4	2年	2			
ARCH 102	設計方法論	2年	2			
ARCH 202	建築計画	2年	2			
ARCH 211	日本の建築	2年	2			
ARCH 331	建築構造	2年	2			
ARCH 332	建築構造デザイン	3年	2			
ARCH 341	建築材料	3年	2			
ARCH 342	建築施工法	3年	2			
ARCH 361	建築法規	3年	2			
ARCH 391	建築学演習	3年	2			
【学科展開科目】						
ARCH 201	住居論	1年		2		I
ARCH 111	住居史	1年		2		I
ARCH 212	西洋の建築	2年		2		I
ARCH 321	建築景観論	3年		2		I
ARCH 213	アジアの建築	3年		2		I
ARCH 251	建築と環境	2年		2		II
ARCH 351	建築設備 1	3年		2		III
ARCH 352	建築設備 2	3年		2		III
ARCH 353	光環境	3年		2		II
ARCH 354	音環境	3年		2		II
ARCH 451	建築環境論	3年		2		III
ARCH 131	構造力学 1	2年		2		IV
ARCH 231	構造力学演習 1	2年		2		IV
ARCH 132	構造力学 2	3年		2		IV
ARCH 232	構造力学演習 2	3年		2		IV
ARCH 133	構造力学 3	3年		2		IV
ARCH 326	防災まちづくり論	3年		2		V
ARCH 151	住宅衛生	1年		2		V
ARCH 301	インテリアデザイン 1	2年		2		V
ARCH 275	デザインテクノロジー-発展 1	2年		2		V
ARCH 276	デザインテクノロジー-発展 2	2年		2		V
ARCH 373	設計製図 3	3年		4		V
ARCH 277	デザインテクノロジー-発展 3	3年		2		V
ARCH 278	デザインテクノロジー-発展 4	3年		2		V
ARCH 302	インテリアデザイン 2	3年		2		V
ARCH 322	都市環境	3年		2		V
ARCH 325	都市防災	2年		2		V
ARCH 374	設計製図 4	3年		4	◆設計製図3を修得していること	V
ARCH 311	建築文化論	3年		2		V
ARCH 181	プロジェクト 1	1年		2		
ARCH 252	環境工学	2年		2		
ARCH 203	建築環境行動	2年		2		
ARCH 182	プロジェクト 2	2年		4		
ARCH 103	空間とデザイン	3年		2		

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
ARCH 323	環境デザイン	3年		2		
ARCH 324	ランドスケープデザイン	3年		2		
ARCH 183	プロジェクト3	3年		4		
ARCH 184	プロジェクト4	4年		4		
AFS 101	フィールド・スタディーズ発展1 (建築)	1年		1		2022年度休講
AFS 102	フィールド・スタディーズ発展2 (建築)	1年		2		2022年度休講
【卒業研究】						
ARCH 491	卒業研究	4年	6			

注意：備考欄にローマ数字がふられている科目は選択必修の科目です。詳細は必ず卒業所要単位表を参照してください。

履修条件については、「学修の手引き」を確認してください。また、各科目の履修条件の詳細はシラバスを確認してください。

建築デザイン学科 履修モデル 2022年度入学生

一級建築士モデル（免許登録時に必要な実務経験年数が最短となるモデルです。※必要な実務経験年数 試験時：0年 登録時：2年）

履修モデルとは、将来の進路や目的に合わせて学年ごとに何を学ぶかを示すための代表的なモデルです。必ずご自身で、学修希望に履修条件、履修上限単位数(CAP)、卒業要件を考慮し履修計画を立ててください。また、時間割上履修できない場合があります。

科目区分		1年生	2年生	3年生	4年生	
武蔵野 INITIAL (16)	必修 (16)	建学	仏教（生き方を考える）基礎 2		仏教（生き方を考える）発展 2	
		情報	データサイエンス基礎 1	「AI活用エキスパートコース」については、別紙参照		
			人工知能基礎 1			
		外国語	英語基礎 A 2			
			英語基礎 C 2			
		教養日本語	日本語リテラシー 1			
		C H P	S D G s 基礎 1			
			S D G s 発展 1 1			
S D G s 発展 2 1						
フィールド・スタディーズ	S D G s 発展 3 1					
	フィールド・スタディーズ 1					
学科科目 (78)	必修 (48)	基礎デザイン1 2	設計製図1 4	建築材料 2	卒業研究 6	
		空間表現論 2	建築計画 2	建築施工法 2		
		基礎ゼミ 2	デザインテクノロジー3 2	建築法規 2		
		基礎デザイン2 2	デザインテクノロジー4 2	建築学演習 2		
		デザインテクノロジー1 2	設計製図2 4	建築構造デザイン 2		
		デザインテクノロジー2 2	日本の建築 2			
			設計方法論 2			
			建築構造 2			
	選択必修 (30)	【学科展開科目】 [計30単位] 以下①②の条件の全てを満たすこと ① I群～V群の科目から計30単位を修得する。 ②当該30単位数に、 I群[2単位]、II群[2単位]、III群[2単位]、IV群[4単位]の計10単位を含む。	住居論 2	西洋の建築 2	建築景観論 2	I群:2単位選択必修
			住居史 2		アジアの建築 2	
				建築と環境 2	音環境 2	II群:2単位選択必修
					光環境 2	
					建築設備1 2	III群:2単位選択必修
					建築設備2 2	
					建築環境論 2	IV群:4単位選択必修
				構造力学1 2	構造力学2 2	
				構造力学演習1 2	構造力学演習2 2	
					構造力学3 2	V群
			住宅衛生 2	インテリアデザイン1 2	設計製図3 4	
				デザインテクノロジー発展1 2	デザインテクノロジー発展3 2	
				デザインテクノロジー発展2 2	デザインテクノロジー発展4 2	
				都市防災 2	インテリアデザイン2 2	
					都市環境 2	
					設計製図4 4	
					防災まちづくり論 2	
					建築文化論 2	
		推奨取得単位数（学科選択必修科目）	6単位	16単位	8単位	-
	自由選択科目 (30)	・プロジェクト1～4と学科科目を中心に履修計画を立てること。 ・4単位は学科科目 I群[2単位]およびII群[2単位]より修得すること。 推奨取得単位数（自由選択科目）	プロジェクト1 2	環境工学 2	環境デザイン 2	プロジェクト4 4
フィールド・スタディーズ発展1（建築） 1			建築環境行動 2	空間とデザイン 2		
フィールド・スタディーズ発展2（建築） 2			プロジェクト2 4	ランドスケープデザイン 2		
				プロジェクト3 4		
	推奨取得単位数（自由選択科目）	2単位	8単位	8単位	（うち4単位はI群[2単位]およびII群[2単位]） 4単位	
履修モデル 計		*34単位	*44単位	*42単位	*10単位	
備考		*所要単位を踏まえ、学習意向を鑑み各自選択し履修してください				
年間CAP		36単位	46単位	46単位	32単位	
卒業所要単位数		合計124単位以上				

※1 履修上限単位数は前年のGPAによって拡大することがあります。

※2 履修モデルの合計単位数が卒業所要単位数に満たない場合、進路や学修指導に応じて適した科目を履修してください。

※3 卒業所要単位数は別途、卒業所要単位表も必ず確認し、必修科目や指定された科目の履修漏れが無いように気をつけてください。

1. 留学の認定科目

留学区分	科目名	単位	科目区分	備考
協定留学	協定留学 1	1	学科科目 (選択)	
	協定留学 2	2		
	協定留学 3	4		
	協定留学 4	6		
	協定留学 5	8		
	協定留学 6	10		
	協定留学 7	10		
認定 (SAP) 留学	認定留学 1	1	学科科目 (選択)	留学先での修得科目の内容が、本学の開講科目の内容に相当する場合は読み替えて単位認定し、それ以外の科目を左記科目として認定します。 留学先での修得科目を本学で単位認定する際の換算方法は、以下のとおりです。 語学科目 18時間 = 1 単位 学部科目 11.25時間 = 1 単位 ただし、留学先での修得科目の内容によっては単位が認定されない場合があります。
	認定留学 2	2		
	認定留学 3	4		
	認定留学 4	6		
	認定留学 5	8		
	認定留学 6	10		
	認定留学 7	10		
第2学期留学プログラム	短期留学プログラム 1	1	学科科目 (選択)	留学先での単位認定の上限単位数は、以下のとおりです。 通年：40単位 半年：20単位 1学期：10単位
	短期留学プログラム 2	2		
	短期留学プログラム 3	3		
	短期留学プログラム 4	4		
	短期留学プログラム 5	5		
	短期留学プログラム 6	6		
	短期留学プログラム 7	7		
	短期留学プログラム 8	8		
	短期留学プログラム 9	9		
	短期留学プログラム 10	10		
短期語学研修	海外語学研修 1	2	自由選択科目 ※	参加するプログラムに応じて、左記科目として認定します。 研修先での受講を本学で単位認定する際は、18時間を1単位として換算します。
	海外語学研修 2	3		
	海外語学研修 3	4		
	海外語学研修 4	4		
	オンライン語学研修 1	1		
	オンライン語学研修 2	1		
	オンライン語学研修 3	2		
	オンライン語学研修 4	2		
	オンライン語学研修 5	3		
	オンライン語学研修 6	3		
	オンライン語学研修 7	4		
	オンライン語学研修 8	5		

2. 資格試験の合格による認定科目（単位認定対象講座の受講が必要）

区分	科目名	単位	科目区分	備考
資格認定	資格認定 I	2	自由選択科目 ※	対象講座の受講が必要 (詳細はMUSCATでお知らせします)
	資格認定 II	2		
	資格認定 III	2		
	資格認定 IV	1		
	資格認定 V	1		
	資格認定 VI	1		
	資格認定 VII	1		

3. 本学が認めたボランティア活動による認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
ボランティア活動	ボランティア活動 1	1	自由選択科目 ※	ボランティア活動時間を本学で認定する際は、45時間を1単位として換算します。
	ボランティア活動 2	1		
	ボランティア活動 3	2		
	ボランティア活動 4	2		
	ボランティア活動 5	4		

4. 本学が認めたキャリアデザインに関する認定科目

区分	科目名	単位	科目区分	備考
キャリアデザイン	キャリアデザインA	1	自由選択科目 ※	2021年度以降入学生は認定可能
	キャリアデザインB	1		
	キャリアデザインC	2		
	キャリアデザインD	2		
	キャリアデザインE	2		

5. その他本学が認めた単位認定

※ 自由選択科目の区分がある学科・課程年度が対象です（自由選択科目の区分を設けていない学科・課程年度においては、卒業要件外科目となります）。

【付録：卒業所要単位表・開講表の見方】

学科・課程年度によって武蔵野INITIAL、学科科目の必修・選択必修・選択の区分、構成が異なります。各自、自身の学科・課程年度の卒業所要単位表・開講表を確認してください。

●卒業所要単位表

〇〇学部 △△学科 -20XX年度入学生-

卒業所要単位表

大区分	単位区分	科目の構成	所要単位数
武蔵野INITIAL	必修	単位区分に応じた科目名又は科目群	
学科科目	必修		
	選択必修		
	選択		
自由選択科目※		以下の科目から〇〇単位以上を修得すること ①武蔵野INITIAL（所要△△単位を超えて修得した単位） ②学科科目（所要××単位を超えて修得した単位） ・ ・ ・	

武蔵野INITIALのうち、必修として必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

学科科目のうち、必修、選択必修として必要な単位数を超えて修得した単位は学科選択に含まれます。

学科選択科目に必要な単位数を超えて修得した単位は自由選択科目に含まれます。

※自由選択科目の区分の有無と対象となる科目の構成は学科・課程年度によって異なります。

●開講表

自身の学部・学科、コース、課程年度（入学年度）であるか確認してください。

<公開年度>

年度によって科目の休講・廃止等があるため、最新年度の開講表を確認してください。

〇〇学部 XX学科 △△△△△△△コース -20XX年度入学生-

開講表 [学科科目]

20XX年度版

科目番号	科目名	開講年次	単位数		履修条件 (◇推奨 ◆必須)	備考
			必修	選択		
【基礎科目群】	科目の分類を表します。					
ABCD 101	××基礎 1	1年		2	◆全員履修	
ABCD 102	ゼミナル	1年	1		◆全員履修	
ABCD 103	XX学入門	1年		2		
ABCD 104	□□論 1	1年		1		
ABCD 201	□□論 2	2年		1		休講
ABCD 106	◎◎学	1年		1	◇××基礎 1を履修していること	
AABB 106	◇◇法	1年		2		
AABB 101	○△□論	1年		2		4科目の中から2科目 選択必修
AABB 102	□□論 1	1年		2		
GHIJ 104	△△学理論	1年		2		
【基幹科目群】						
PJK 101	○○学理論	1年		2		
PJK 102	△○学理論	1年		2		
CDR 101	◇◇学理論	1年		2		
CDR 206	□□論 2	2年		2	◆□□論 1を履修していること	

<開講年次>
履修が可能となる学年。
(上位学年の科目は履修できません。)

<科目番号 (ナンバリング)>

カリキュラムの体系的・段階的な構成を示すため、科目にはレベル、学問分野に基づいた科目番号が付けられています。ナンバリングを参考にすることで、学修の段階・レベルを意識して履修計画を立てることができます。レベルの詳細は、学修の手引きの「単位と科目」ページにある「ナンバリング (科目番号)」を確認してください。

<単位数>

必修科目の場合「必修」欄に、選択必修科目・選択科目の場合は「選択」欄に単位数が入っています。

<履修条件>

科目によっては、学習効果を高めるために、学修の段階に応じた履修条件が設定されています。設定されている場合は、開講表の履修条件欄、又はシラバスに記載されています。

<備考>

選択必修や休講科目の情報など、科目の補足情報が記載されています。